

# つくば市の 台所事情

## 令和2年度決算



### もくじ

|   |                     |     |    |
|---|---------------------|-----|----|
| 1 | つくば市の決算を「家計」に例えてみよう | ・・・ | 1  |
| 2 | 市民1人当たりの使い道を見てみよう   | ・・・ | 3  |
| 3 | 市税って、どのような税金なんだろう   | ・・・ | 4  |
| 4 | 身近なお金の使い道           |     |    |
|   | ①「保育所」「幼稚園」         | ・・・ | 5  |
|   | ②「小・中学校」「学校給食」      | ・・・ | 6  |
|   | ③「消防・救急」            | ・・・ | 6  |
|   | ④「ごみの処理」            | ・・・ | 7  |
|   | ⑤「福祉」「医療」「介護」       | ・・・ | 8  |
| 5 | 借金と貯金の残高を見てみよう！     | ・・・ | 9  |
| 6 | つくば市の財政は健全なの？       | ・・・ | 10 |
| 7 | お財布事情を見てみよう         | ・・・ | 11 |
|   | 【特別編】               |     |    |
| 8 | 特別会計                | ・・・ | 12 |
| 9 | 公営企業会計              | ・・・ | 13 |

[ C Ě B ½ Ě C \

%)

( %'S

( ' '\*

\* "%

) '\*

' "+

&' -

%(

%. @ « è ³ 1 - Q à ' a B C Ě C

Đ « è \* \*

Ÿ 4 ¥ Û Ě

繰入金  
77億円

½ Ě

OP

B" @ b ½ Ě C

i H- M0  
B² I Á ) ( C

[ Ø Ü - - I - ½ Ě \

) %\* ž ' -

% ( Ž/6\*'

&( &ž \*\*

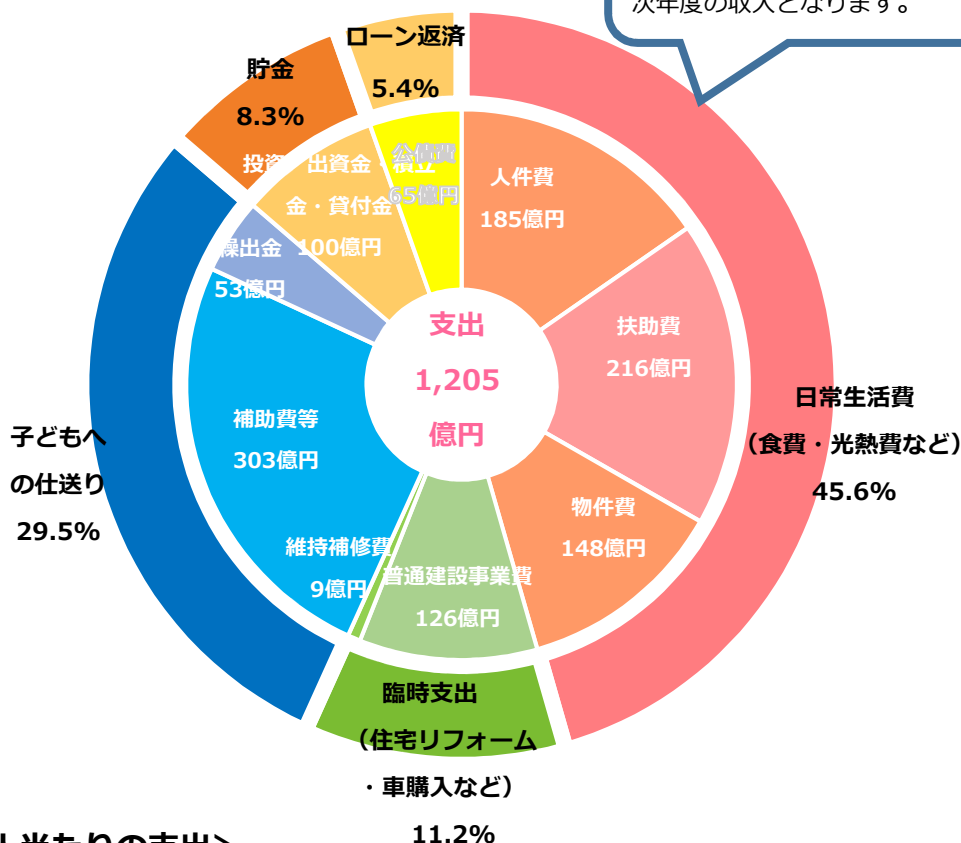
|   |          |  |            |
|---|----------|--|------------|
|   |          |  |            |
|   | ) %)     |  | &%/ž * &   |
| ( | fl Ł (+& |  | % ( Ž/6*'  |
|   | fl Ł ('  |  | %+ž+--     |
|   | ) (+     |  | &ž) Ž/6 +  |
| ( | fl Ł (+S |  | % ' ž +&   |
|   | fl Ł ++  |  | ' %ž+&     |
|   | fl Ł ++  |  | ' %ž* - (  |
|   | fl Ł +S  |  | &ž ŽS&'    |
|   | fl Ł (*  |  | % ž *'     |
|   | %)       |  | ) %* ž ' - |

## <歳出（支出）>

つくば市の歳出総額1,205億円を家計におきかえてみました。

歳出の内訳は、日常生活費（人件費、扶助費、物件費）が45.6%を占めています。残りは、臨時支出（普通建設事業費等）が11.2%、子どもへの仕送り（補助費等）が29.6%、貯金（積立金、貸付金等）が8.3%、ローン返済（公債費）が5.4%でした。子供への仕送りの割合が多い要因は、特別定額給付金239億円によるものです。

### 令和2年度一般会計決算額(歳出)



## <市民1人当たりの支出>

歳出を家計におきかえてみると、市民1人当たり496,291円の支出になります。収入と支出の差額（20,548円）は、次年度の収入となります。

※令和2年度末の住民基本台帳人口（242,867人）

| 項目                  | 総額       | 市民1人当たりの額  |
|---------------------|----------|------------|
| 日常生活費               | 549 億円   | 226,105 円  |
| 食費 (人件費)            | (185 億円) | (76,286 円) |
| 医療費・教育費 (扶助費)       | (216 億円) | (88,781 円) |
| 光熱水費・被服費 (物件費)      | (148 億円) | (61,038 円) |
| 臨時支出                | 135 億円   | 55,599 円   |
| 自動車・家電購入 (普通建設事業費)  | (126 億円) | (51,880 円) |
| 住宅リフォーム (維持補修費)     | (9 億円)   | (3,719 円)  |
| 子どもへの仕送り (補助費・繰出金等) | 356 億円   | 146,652 円  |
| 貯金 (積立金・貸付金等)       | 100 億円   | 41,361 円   |
| ローン返済 (公債費)         | 65 億円    | 26,574 円   |
| 合計                  | 1,205 億円 | 496,291 円  |

## 2 市民1人当たりの使い道を見てみよう！

市税などの収入は、福祉や医療、学校、道路、まちづくりなど、幅広い分野の行政サービスにきめ細かく使われています。

ここでは分野ごとの支出を、市民1人当たりにおきかえて見てみましょう。

また、市税が、それぞれの分野にどのくらい使われているか見てみましょう。

|                                | 令和元年度     | 令和2年度     | 前年度比       |
|--------------------------------|-----------|-----------|------------|
| 福祉・医療の充実に                      | 148,724 円 | 159,434 円 | 10,710 円   |
| うち市税で負担                        | 66,793 円  | 68,937 円  | 2,144 円    |
| 教育・文化振興に                       | 51,284 円  | 56,685 円  | 5,401 円    |
| うち市税で負担                        | 26,289 円  | 26,921 円  | 632 円      |
| 広報や庁舎の維持管理などに                  | 44,567 円  | 50,280 円  | 5,713 円    |
| うち市税で負担                        | 27,051 円  | 27,706 円  | 655 円      |
| 特別定額給付金事業に<br>(新型コロナウイルス感染症対策) | －         | 100,588 円 | 100,588 円  |
| うち市税で負担                        | －         | 0 円       | 0 円        |
| ごみ処理・環境保全に                     | 30,592 円  | 14,382 円  | △ 16,210 円 |
| うち市税で負担                        | 7,910 円   | 7,047 円   | △ 863 円    |
| 市債の返済に                         | 26,153 円  | 26,574 円  | 421 円      |
| うち市税で負担                        | 20,968 円  | 21,488 円  | 520 円      |
| 道路・公園・河川に                      | 24,485 円  | 24,546 円  | 61 円       |
| うち市税で負担                        | 12,072 円  | 11,660 円  | △ 412 円    |
| 消防・救急・防災に                      | 16,407 円  | 15,925 円  | △ 482 円    |
| うち市税で負担                        | 13,952 円  | 13,016 円  | △ 936 円    |
| 住宅・まちづくりに                      | 17,235 円  | 33,776 円  | 16,541 円   |
| うち市税で負担                        | 13,523 円  | 8,467 円   | △ 5,056 円  |
| 産業の振興に                         | 12,081 円  | 14,101 円  | 2,020 円    |
| うち市税で負担                        | 7,724 円   | 8,921 円   | 1,197 円    |
| 総支出額                           | 371,528 円 | 496,291 円 | 124,763 円  |
| 1人当たりの市税                       | 196,284 円 | 194,163 円 | △ 2,119 円  |
| ※参考：年度末（3月31日）人口               | 238,014 人 | 242,866 人 | 4,852 人    |

令和2年度の総支出額は496,291円で、前年度と比較すると、124,763円増加しています。要因は、令和2年度に1人当たり10万円を給付した『特別定額給付金事業』によるものです。

分野ごとの使い道では『福祉・医療』が最も多く、総支出額の3～4割を占めています。次いで『教育・文化振興』『広報・庁舎維持管理など』がそれぞれ1割程度となっています。

行政サービスの財源となる『市税』は、令和2年度が1人当たり194,263円で、前年度と同水準です。

分野ごとの市税の負担は『福祉・医療』が最も多く、市税の3～4割を占めています。

### 3 市税って、どのような税金なんだろう

#### 税金

税金には、国に納める「国税」、県に納める「県税」、市に納める「市税」があります。国税は所得税や相続税、県税は県民税や自動車税、市税は市民税や固定資産税などがあります。

#### 市税の種類

- 【個人市民税】 給与収入などに応じて納めていただく税
- 【法人市民税】 市内に事業所がある法人に納めていただく税
- 【固定資産税】 土地や家屋などを持っている方に納めていただく税
- 【都市計画税】 主に市街化区域内に土地や家屋などを持っている方に納めていただく税
- 【市たばこ税】 市内でたばこを買った方に納めていただく税
- 【その他】 軽自動車等を保有している方に納めていただく税や入湯税

これらを総称して『市税』といいます。

#### 市税収入と納税義務者数

|             | 市税収入               | 納税義務者数   | (参考)<br>納税義務者1人当たり |
|-------------|--------------------|----------|--------------------|
| 個人市民税       | 181億7,264万円        | 123,743人 | (146,858円)         |
| 法人市民税       | 35億1,968万円         | 7,032件   | (491,027円)         |
| 固定資産税       | 215億9,274万円        | 87,114件  | (246,546円)         |
| 都市計画税       | 18億9,231万円         | 71,768件  | (26,367円)          |
| 市たばこ税       | 14億5,388万円         | —        | —                  |
| その他（軽自動車税等） | 5億2,435万円          | —        | —                  |
| <b>市税総額</b> | <b>471億5,560万円</b> |          |                    |



市税の総額を、市民1人当たりにおきかえてみると、194,163円になります。

※令和2年度末の住民基本台帳人口（242,866人）

## 4 身近なお金の使い道

### ①「保育所」「幼稚園」

#### 保育所の運営にかかったお金

| 【公立保育所】  | 総額         | 児童1人当たり<br>(1,739人) | (うち市の負担) ※ |
|----------|------------|---------------------|------------|
| 職員給与関係経費 | 26億7,652万円 | 1,539,115円          | 1,429,747円 |
| 管理に要する経費 | 3億7,195万円  | 213,887円            | 212,616円   |
| 運営に要する経費 | 3億6,862万円  | 211,972円            | 141,001円   |
| 合計       | 34億1,709万円 | 1,964,974円          | 1,783,364円 |

| 【民間保育所】  | 総額       | 児童1人当たり<br>(5,214人) | (うち市の負担) ※ |
|----------|----------|---------------------|------------|
| 運営に要する経費 | 87億299万円 | 1,669,158円          | 417,292円   |

「保育所の運営」に、公立保育所で約34億円、民間保育所で約87億円かかりました。「児童1人当たりの支出」で見ると、公立保育所で約196万円、民間保育所で約167万円になります。

この他、認可外保育施設を利用する保護者の経済的負担を軽減するため、利用料の一部を給付し、約6,700万円かかりました。

※市の収入のうち、国・県支出金や市債の借入等を除いた、市税等の収入で賄う金額

#### 幼稚園の運営にかかったお金

| 【公立幼稚園】    | 総額        | 園児1人当たり<br>(782人) | (うち市の負担) ※ |
|------------|-----------|-------------------|------------|
| 職員給与関係経費   | 6億1,415万円 | 785,358円          | 785,128円   |
| 管理運営に要する経費 | 7,864万円   | 100,563円          | 89,757円    |
| 施設整備に要する経費 | 2,912万円   | 37,238円           | 31,419円    |
| その他経費      | 7,014万円   | 89,693円           | 89,476円    |
| 合計         | 7億9,205万円 | 1,012,852円        | 995,780円   |

| 【民間幼稚園】  | 総額        | 園児1人当たり<br>(777人) | (うち市の負担) ※ |
|----------|-----------|-------------------|------------|
| 運営に要する経費 | 5億3,147万円 | 684,003円          | 544,672円   |

「幼稚園の運営」に、公立幼稚園で約8億円、民間幼稚園で約5億円かかりました。「園児1人当たりの支出」で見ると、公立幼稚園で約101万円、民間幼稚園で約68万円になります。

この他、私立幼稚園に園児を就園させている保護者の経済的負担を軽減するため、利用料の一部を給付し、約4億円かかりました。

※市の収入のうち、国・県支出金や市債の借入等を除いた、市税等の収入で賄う金額

## ② 「小・中学校」 「学校給食」

### 小・中学校の運営にかかったお金

|       | 総額         | 児童生徒1人当たり<br>(21,302人) | (うち市の負担) ※ |
|-------|------------|------------------------|------------|
| 就学援助費 | 1億8,479万円  | 8,675円                 | 8,385円     |
| 教材購入費 | 17,354万円   | 8,147円                 | 8,147円     |
| 維持管理費 | 14億1,279万円 | 66,322円                | 60,459円    |
| 建設費   | 43億6,768万円 | 205,035円               | 36,411円    |
| その他   | 2,965万円    | 1,392円                 | 916円       |
| 合計    | 61億6,844万円 | 289,571円               | 114,318円   |

「小・中学校の運営」に、約62億円かかりました。

「児童生徒1人当たりの支出」で見ると、約29万円になります。

※市の収入のうち、国・県支出金や市債の借入等を除いた、市税等の収入で賄う金額

### 学校給食にかかったお金

|          | 総額         | 児童生徒1人当たり<br>(22,084人) | (うち市の負担) ※ |
|----------|------------|------------------------|------------|
| 幼稚園・小中学校 | 22億9,447万円 | 103,897円               | 60,093円    |

「学校給食」に、約23億円かかりました。

「幼児・児童生徒1人当たりの支出」で見ると、約10万円になります。

※市の収入のうち、国・県支出金や市債の借入等を除いた、市税等の収入で賄う金額

## ③ 「消防・救急」

### 消防・救急にかかったお金

|            | 総額         | 市民1人当たり<br>(242,866人) | (うち市の負担) ※ |
|------------|------------|-----------------------|------------|
| 消防・救急に係る費用 | 37億1,535万円 | 15,298円               | 14,276円    |
| 所有消防車      | 86台        | 火災件数                  | 63件        |
| 所有救急車      | 11台        | 救急車出動件数               | 8,013件     |

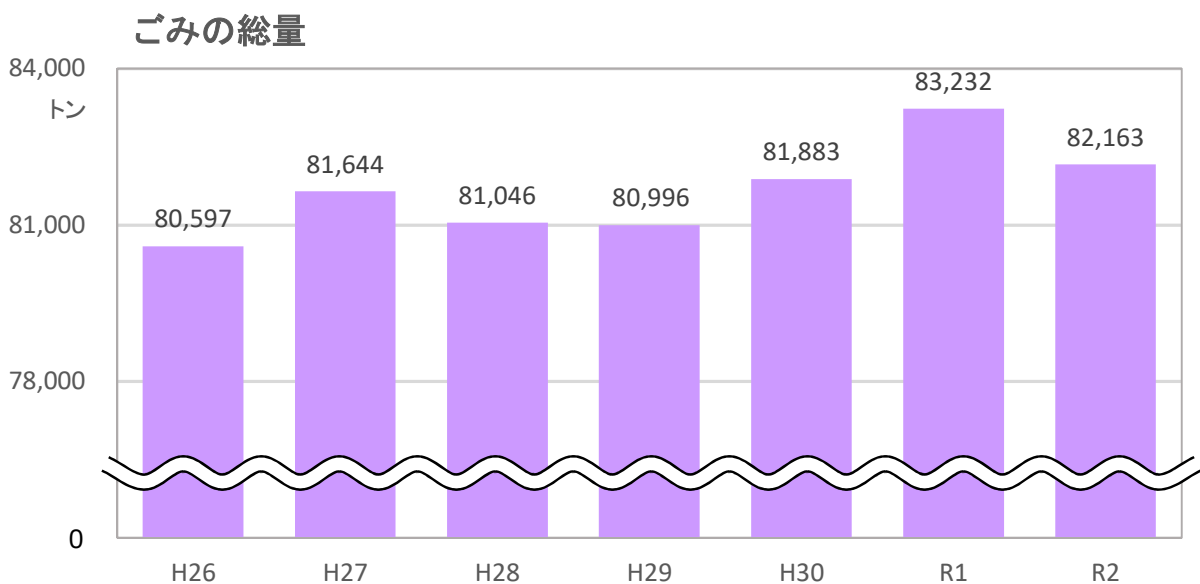
「消防・救急」に、約37億円かかりました。

「市民1人当たりの支出」で見ると、約1.5万円になります。

※市の収入のうち、国・県支出金や市債の借入等を除いた、市税等の収入で賄う金額

#### ④ 「ごみの処理」

### ごみの処理にかかったお金



|      | 総額         | 市民1人当たり<br>(242,866人) | (うち市の負担) ※ |
|------|------------|-----------------------|------------|
| 処理費用 | 23億9,342万円 | 9,855円                | 5,961円     |

※サステナスクエアの資源化施設建設費が含まれています。

|           | つくば市全体   | 市民1人当たり<br>(242,866人) |
|-----------|----------|-----------------------|
| 可燃ごみ      | 70,385トン | 290キロ                 |
| 不燃ごみ・粗大ごみ | 5,108トン  | 21キロ                  |
| 資源ごみ      | 6,670トン  | 27キロ                  |
| 合計        | 82,163トン | 338キロ                 |

「ごみの処理」に、約24億円かかりました。

「市民1人当たりの支出」で見ると、約1万円になります。

※市の収入のうち、国・県支出金や市債の借入等を除いた、市税等の収入で賄う金額



## ⑤ 「福祉」「医療」「介護」

### 福祉・医療・介護をささえたお金

|  | 総額          | 市民1人当たり<br>(242,866人) | (うち市の負担) ※ |
|--|-------------|-----------------------|------------|
| 【高齢者の福祉】にかかったお金<br>高齢者のいきがい・健康づくりなど      | 28億4,096万円  | 11,697円               | 9,532円     |
| 【障害者の福祉】にかかったお金<br>障害福祉サービス・補装具の援助など     | 47億7,002万円  | 19,641円               | 6,775円     |
| 【高齢者の医療】にかかったお金<br>後期高齢者医療制度の推進など        | 20億953万円    | 8,274円                | 7,240円     |
| 【医療福祉（マル福）】にかかったお金<br>小児、妊産婦などに対する医療費の補助 | 14億9,160万円  | 6,142円                | 3,471円     |
| 合計                                       | 111億1,211万円 | 45,754円               | 27,018円    |

「高齢者の福祉」や「障害者の福祉」などに、約111億円かかりました。  
「市民1人当たりの支出」でみると、約4.6万円になります。

※市の収入のうち、国・県支出金や市債の借入等を除いた、市税等の収入で賄う金額

### ★特別会計からみた「福祉」「医療」「介護」

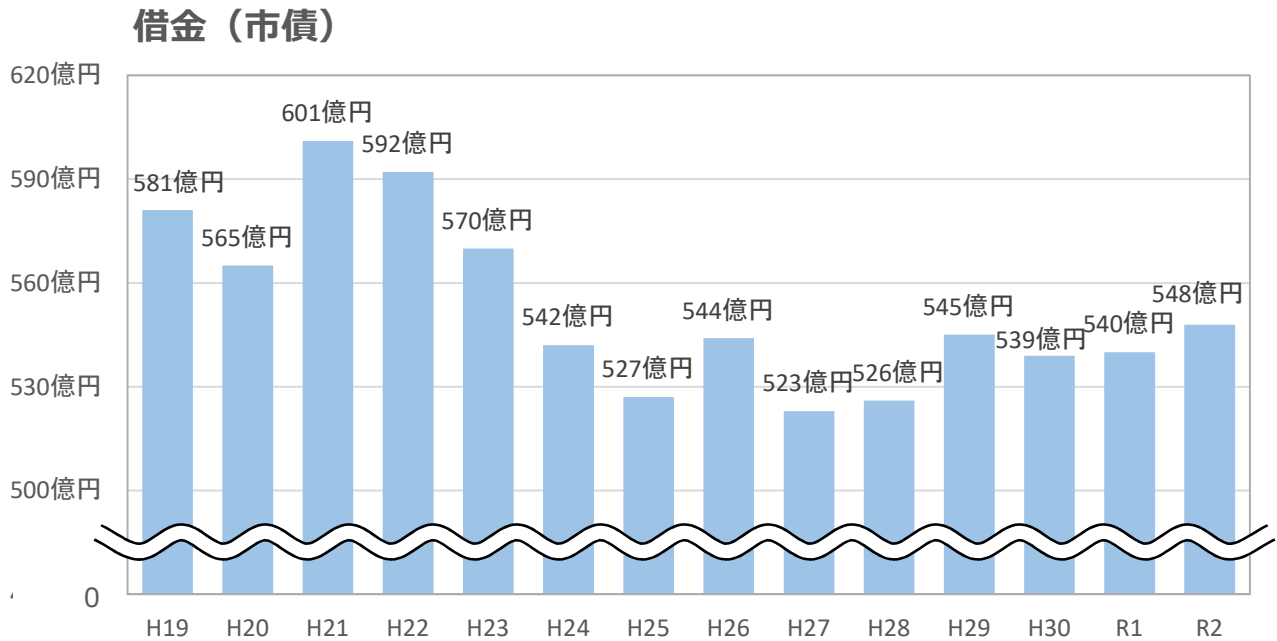
|            | つくば市全体      |                        |            |
|------------|-------------|------------------------|------------|
| 国民健康保険の給付  | 115億665万円   | 被保険者1人当たり<br>(43,989人) | 261,580円   |
| 後期高齢者医療の納付 | 20億9,278万円  | 被保険者1人当たり<br>(22,188人) | 94,320円    |
| 介護保険の給付    | 125億2,198万円 | 認定者1人当たり<br>(7,787人)   | 1,608,063円 |
| 合計         | 261億2,141万円 |                        |            |

一般会計とは別にしている「特別会計」においても「福祉」「医療」「介護」にお金が使われています。令和2年度においては、「国民健康保険の給付」「後期高齢者医療の納付」「介護保険の給付」に約261億円が使われました。

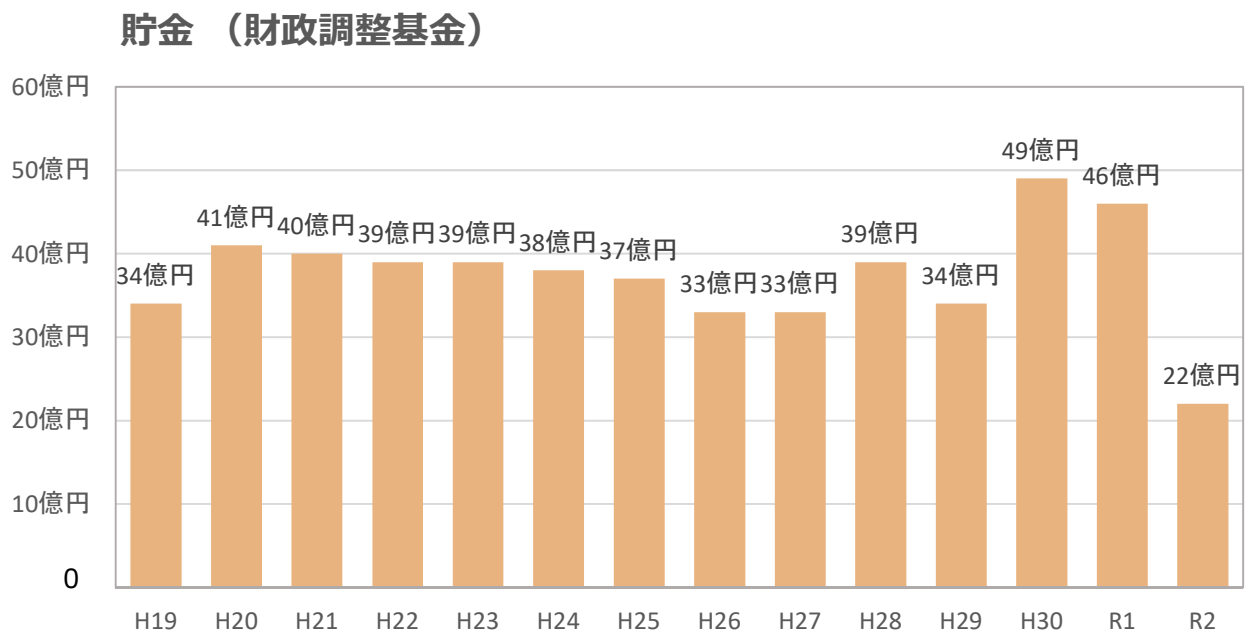
なお、特別会計については、11ページからの特別編もご参照ください。

## 5 借金と貯金の残高を見てみよう！

つくば市の借金（市債）は548億円あります。



つくば市の貯金（財政調整基金）は22億円あります。



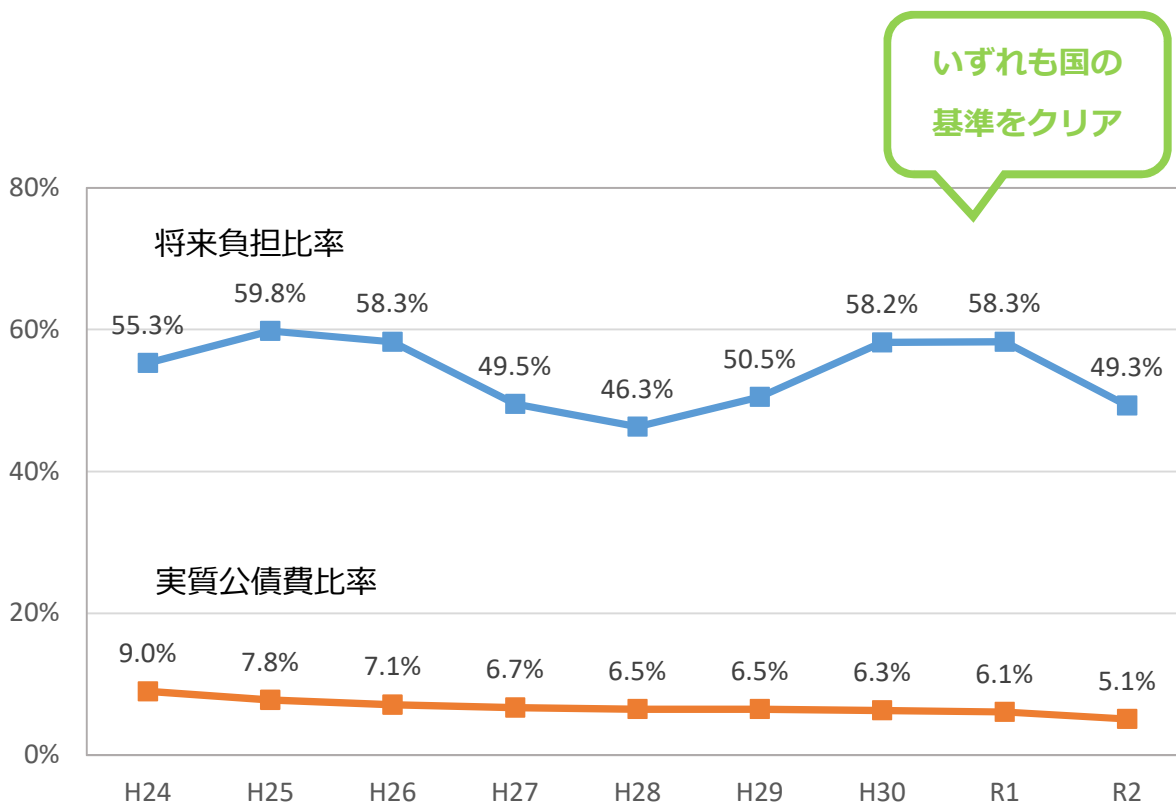
## 6 つくば市の財政は健全なの？

つくば市の財政は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」で定められている5つの指標について、いずれも国の定める基準をクリアしています。

|                              | 早期健全化基準 ※1 | 財政再生基準 ※2 | つくば市      |
|------------------------------|------------|-----------|-----------|
| <b>実質赤字比率</b>                |            |           |           |
| 財政規模に対する<br>福祉や教育など一般会計の赤字割合 | 11.25%     | 20.00%    | —<br>(黒字) |
| <b>連結実質赤字比率</b>              |            |           |           |
| 財政規模に対する全会計の赤字割合             | 16.25%     | 30.00%    | —<br>(黒字) |
| <b>実質公債費比率</b>               |            |           |           |
| 財政規模に対する借入金返済割合              | 25.0%      | 35.0%     | 5.1%      |
| <b>将来負担比率</b>                |            |           |           |
| 財政規模に対する将来の借入金返済割合           | 350.0%     | —         | 49.3%     |
| <b>資金不足比率</b>                |            |           |           |
| 営業収益に対する各公営企業の資金不足割合         | 20.0%      | —         | —         |

※1 早期健全化基準を超えると、財政健全化計画を策定し、議会の議決後、公表しなければなりません。

※2 財政再生基準を超えると、財政再生計画を策定し、議会の議決後、公表しなければなりません。また、市債の発行が制限されます。

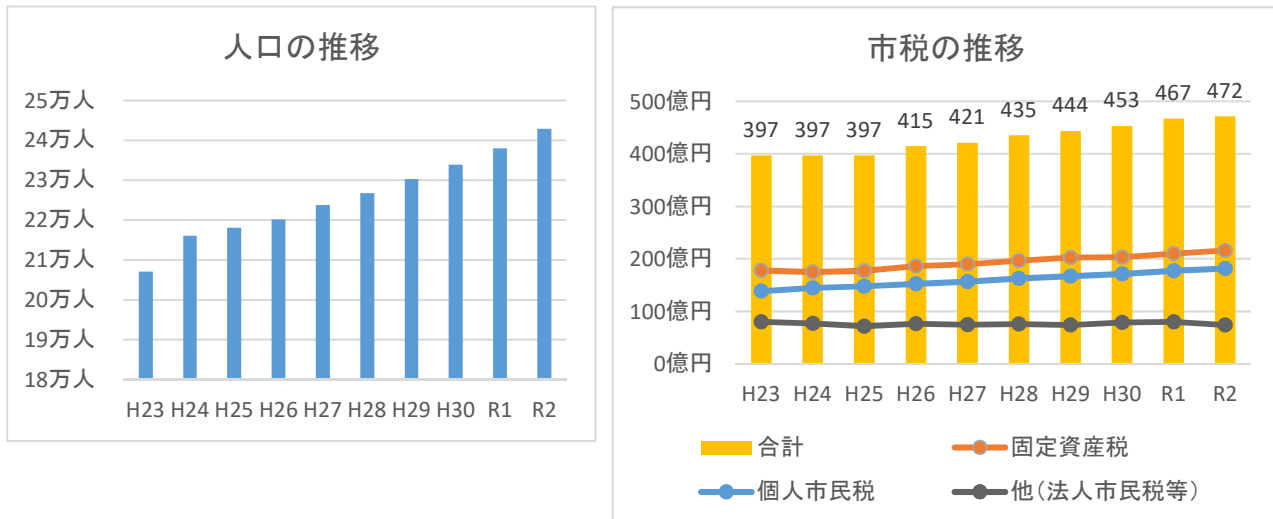


## 7 お財布事情を見てみよう！

### 人口と市税

つくば市の人口は年々増加し、令和2年度末で242,866人（平成23年度比+17%）です。人口増加に伴い市税も増加しています。令和2年度は約472億円（平成23年度比+19%）の税収となっており、特に個人市民税と固定資産税が伸びています。

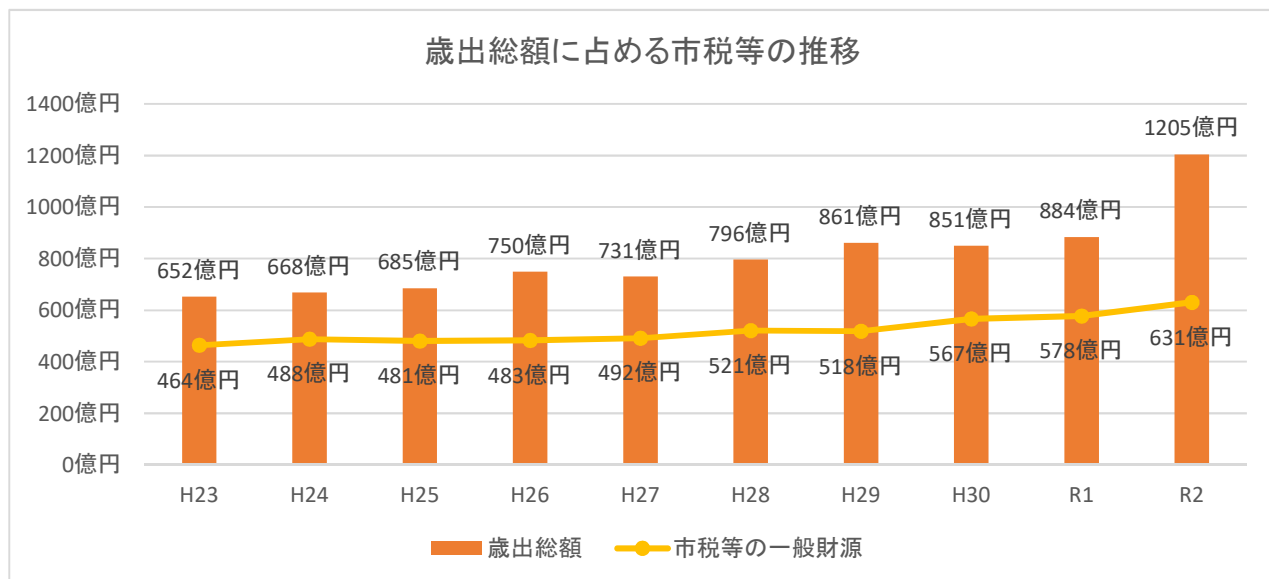
今後、つくばエクスプレス沿線開発の終了により人口伸び率の鈍化や、つくば市未来構想により2048年をピークに人口減少へ転じることも予測されています。



### 歳出総額と一般財源

一方、幅広い分野の行政サービスに対応するため、歳出も増加しています。市税等を財源とする一般財源も増加し、令和2年度は約631億円（平成23年度比+36%）です。

今後も年々増加する扶助費や、市債を償還するための公債費など、歳出の大幅な増加が見込まれます。



## 特別編

つくば市の会計には、これまで説明してきた「一般会計」のほかに、「特別会計」と「公営企業会計」があります。「特別会計」と「公営企業会計」へは、一般会計から繰出金等がされます。

## 8 特別会計

### ○特別会計の主な内容

#### 国民健康保険特別会計

加入者が病気やけがのときの保険給付などを行っています。加入者の保険税などをもとに運営しています。

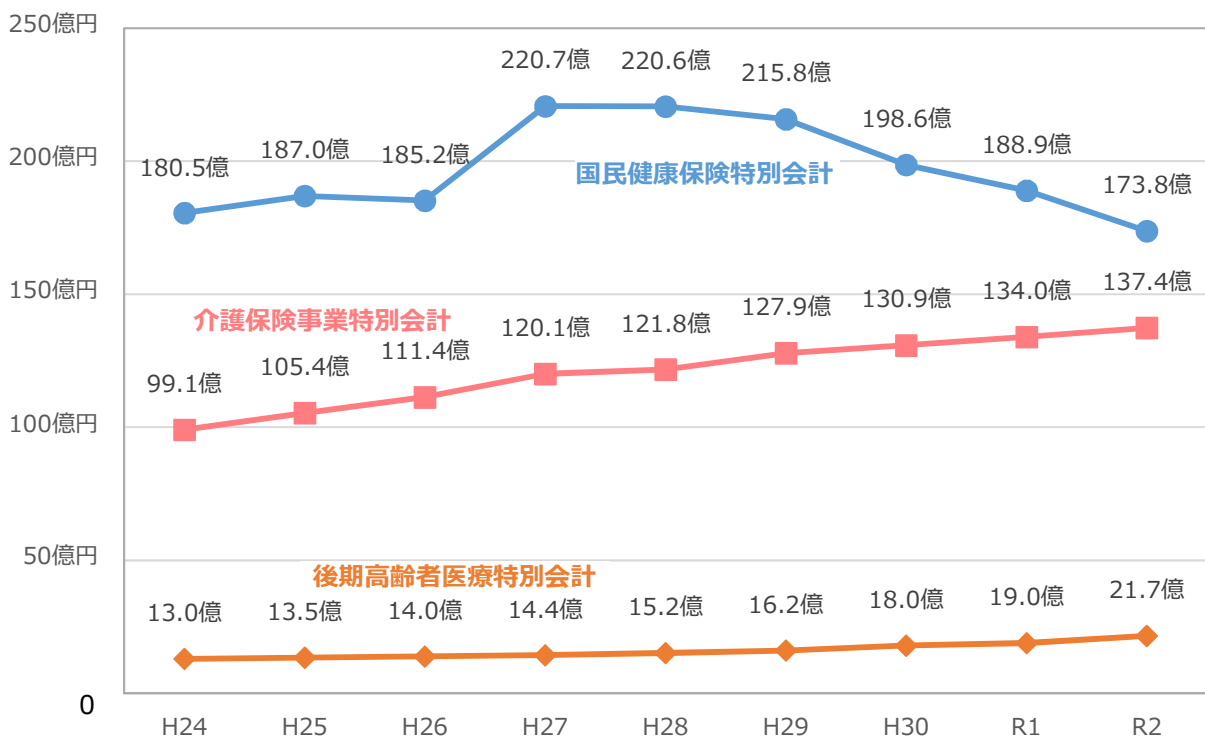
#### 後期高齢者医療特別会計

保険料の徴収などを行っています。加入者の保険料などをもとに運営しています。

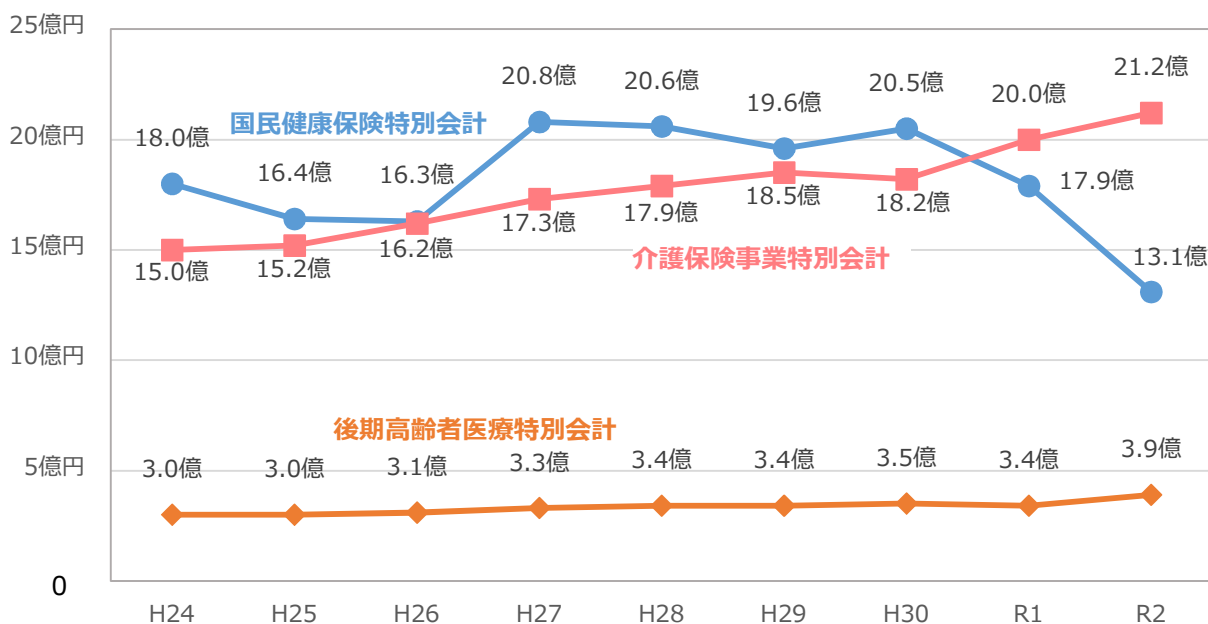
#### 介護保険事業特別会計

介護認定者への介護サービスなどを行っています。加入者の保険料などをもとに運営しています。

### 特別会計の歳出決算額の推移



## 特別会計への繰出金の推移



## 9 公営企業会計

### ○公営企業会計の主な内容

#### 水道事業会計

上水道の維持管理、整備などを行っています。水道の使用料などをもとに運営しています。

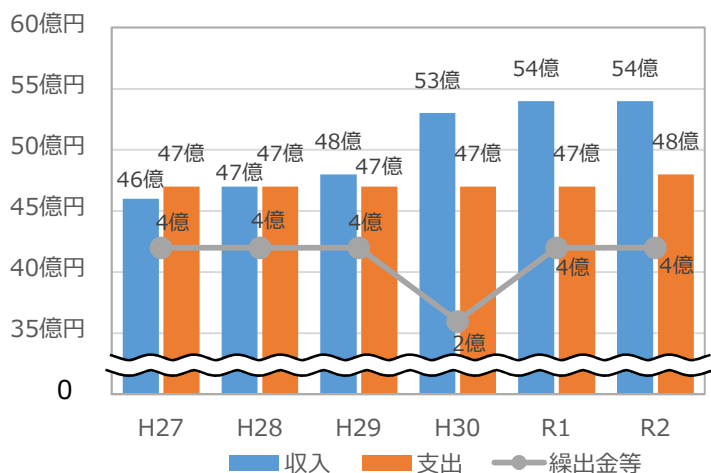
#### 下水道事業会計

下水道の維持管理、整備などを行っています。下水道の使用料などをもとに運営しています。

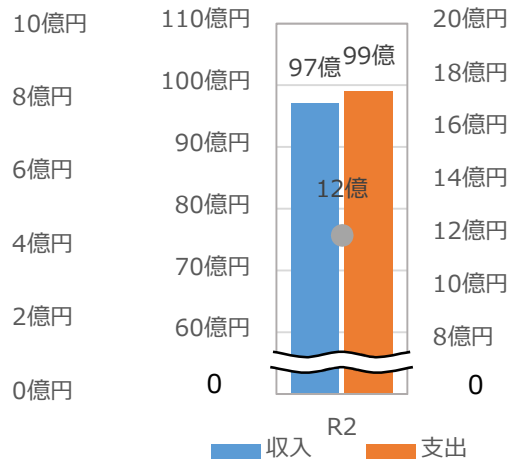
※令和2年度から、公営企業会計へ移行しました。

### 収入・支出・繰出金等の推移

#### 水道事業会計



#### 下水道事業会計



※平成30年度から水道の料金体系を改定したため、収入が増加しました。